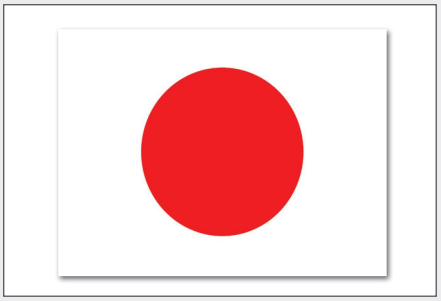


# JAPANESE

## 火の用心

もし、家の中で火事が起こっているのを見つけたら、燃えている部屋のドアを閉めて「FIRE, FIRE, FIRE!（火事だ　火事だ　火事だ！）」と叫んで下さい。
家の中にいる人達全員が煙の下をくぐって早く外へ出るようにして下さい。絶対に家の中へまた戻ってはいけません。
外へ出たらすぐに１１１番に電話して下さい、電話がない時には、お隣で電話を借りてください。

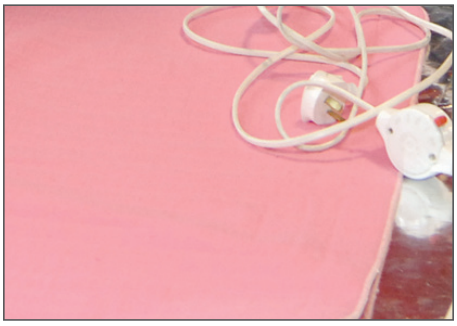
家の中の家具の配置を覚えておきましょう。どの窓が開かないか、とかドアを開けるのに必要な鍵がどれか、などをよく覚えておきましょう。
暗い中で外へ出る練習を家族でしておきましょう。そして、外で会う場所も決めておきましょう。

スモーク・アラーム（煙感知器）が付けられていない家には住んではいけません。
もし借家に住んでいるのなら、家主さんにスモーク・アラームをつけてくれるよう頼みなさい。

スモーク・アラームの状態にいつも気をつけていて下さい。
電池を変えるのでなければ、電池を外したままにしておいてはいけません。いつもスモーク・アラームを良い状態にしておきましょう。

絶対になべを火にかけたままその場を離れてはいけません－必ず台所にいて下さい。お酒を飲みながら料理をしてはいけません。

マッチとライターは子供の手の届かない所に置いておいて下さい。

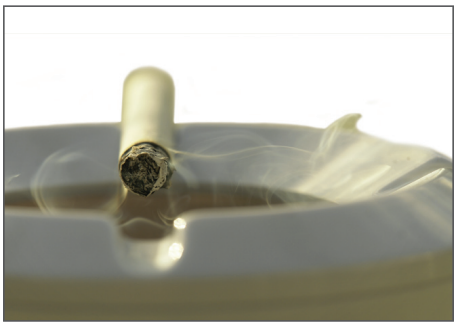


電気毛布を使うのは、家にいる時だけにしましょう。
電気毛布の電気をつけたまま、眠ってはいけません。

ヒーターの周りに物を置くときは、必ず少なくとも１m以上ヒーターから離しましょう。もし必要ならヒーターガードを使いましょう。

暖炉を使う時は、必ず火の粉よけのガードを使いましょう。
暖炉の近くにいる子供達は、必ずよく監督しましょう。周囲に置く物は、少なくとも暖炉から１m以上、離しましょう。

暖炉の熱い灰は、完全に冷めるまで三日間かかります。灰を捨てるときには必ず金属製のバケツに灰を集め、その上から水をかけましょう。



ベッドで煙草を吸わないで下さい。煙草の吸いさしを、どこで、どのように消すのかに注意して下さい。

もし、ろうそくを使わねばならない時は、広くて、平坦な台の上に置き、火が燃え移るような物を、側に置かないように気をつけて下さい。
寝る時に、ろうそくをつけたままにしてはいけません。ろうそくをつけている時は、必ずその部屋に誰か大人の人がいるようにしてください。

毎晩、電灯を消す前に家中を見てまわって火の用心に努めましょう。
ヒーター・電灯・テレビ・コンピューター、そして他の必要でない電気器具のスィッチを切るようにして下さい。ろうそくはすべて消されているか確認し、家の玄関のドアはデッドロックで施錠されていて安全か、家の中の通路は物が置いてなくてすぐに逃げられるようになっているか、電気毛布は寝る前に消してあるか、等です。